

# 苗木生産拡大の取り組みについて

施設名：介護老人保健施設はまゆう  
発表者：儀間幹生(環境整備課)

## 【はじめに】

おもととよみの杜は、今年で11年目を迎えている。花と緑に囲まれ自然の中で「人々に心からの安らぎと癒しの空間を提供し、利用者によりハビリテーションとしての機能や快適さ」を提供し、しかも安全かつ適正に庭園緑地の機能を維持するために努めている。庭園緑地の機能は、植物、昆虫、鳥、動物、水などの自然供給機能と環境調整、自然保護などの環境サイドと、観賞、休養、スポーツなどのレクリエーション機能と象徴、歴史、避難などの社会的機能としての生活サイドがある。庭園維持管理作業の一環として、現在、花木、苗木の生産に取り組んでいるので報告します。

## 1. 生産方法について

期間：H19.11月～H20.12月(1年間)

挿し木による増やし方

ブーゲンビレア

さし穂の適期：5月頃

茶褐色になりかけの木質化した小枝を長さ15cm前後、3～4節程度のものを川砂に押しつけて使用します。

川砂だと1ヶ月ぐらいで発根し、2ヶ月後に15cmポットに移植した。現在はあんどん仕立てである。

アジサイ

さし穂の適期：4月～5月頃

新芽の先端部分を3節くらいつけて15cm前後で切り、下葉を切り除いて鹿沼土に挿す。

土に挿して2週間ほどで発根し、1ヶ月後に15cmポットに移植して、現在は、尺鉢で育成。切

り口に、発根剤(ルートン)つけて挿すと発根しやすくなる。

## 2. 肥培管理について

肥料の三要素【N・P・K】

植物のタンパク質や葉緑素を作り、苗木の生長に欠かせない・窒素(N)

細胞の核タンパクや貯蔵養分を作り、花や果実の形成に欠かせない・リン【P】

炭水化物やタンパク質を作り、これを移動させる丈夫な根や茎の形成に欠かせない・カリ【K】

15cmポットに移植して、10日後からIB化成肥料を8粒ほど施す。

苗を移植して、20日後から10日に1回の割合で、液体肥料を土壌及び葉面散布する。

春先と秋(年2回)には、15cmポットと尺鉢に有機肥料を一握り施す。

## 3. 薬剤管理について

別紙参照

## 4. 結果

環境整備課と職員(一年間で延べ537名、1,074時間)の協力と理解の上で、一つ一つの作業をしながら「協働して育成する過程にこそ、喜びとすばらしさ」があると実感した。又、苗木を購入するよりも自家生産した方が、結果としてコスト削減につながった。生産した苗木を、新規事業施設内の庭園植栽を目標としている。これからも職員とともに更なる質の向上をめざし、地域、社会に貢献できるよう頑張っていきたい。